

- 問1 ある工業地域の統計において、製造品出荷額のうち鉄鋼業が約336億円であるのに対し、造船業が約2323億円と非常に高い割合を占めている地域があります。このような産業構造が形成された地理的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 内陸部の豊かな水資源と広大な土地を活かして、海外から輸入した原材料を加工する基礎素材産業が特化しているため
 2. 広大な平野部を利用して大規模な製鉄所を建設し、近隣の自動車工場へ鋼材を供給する体制が確立されているため
 3. 寒冷な気候による結氷を防ぐため、一年を通じて温暖な気候を利用した精密機械の組み立て工場が密集しているため
 4. 複雑な海岸線をもつリアス海岸が広がり、波が穏やかな天然の良港を活かして大型船の建造が行いやすいため
- 問2 高知県のなす栽培において、出荷時期を全国平均のピークである夏場から、3月から5月といった春先にずらして出荷している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 標高の高い高冷地の涼しい気候を利用して、生育を遅らせる工夫をしているため。
 2. 他の産地の出荷が少なくなる時期を狙うことで、有利な価格で販売するため。
 3. 夏の台風による被害を避けるため、収穫をすべて春までに終わらせる必要があるため。
 4. 大都市に近い立地を活かし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を届けるため。
- 問3 かつて大阪・徳島間の移動はフェリーの利用を含め約650分を要していましたが、交通網の整備により約350分へと大幅に短縮されました。この変化が四国地方の農水産物の出荷に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 鉄道網の整備によって大量輸送が可能になったことで、フェリーによる輸送が完全に廃止され、輸送コストが大幅に上昇した。
 2. 瀬戸大橋の開通により岡山県を経由するルートが主流となったため、徳島県産の農水産物は四国内での消費が中心となった。
 3. 高速道路の整備によって四国内の移動は円滑になったが、本州側への輸送距離が長くなったため、大阪市場への出荷量は減少した。
 4. 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。
- 問4 島根県の工業構造について、製造品出荷額の統計資料から読み取れる背景や特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。
 2. シリコンアイランドと呼ばれるような、大規模な半導体工場を中心とした工業集積が見られる。
 3. 高速道路網の整備により、大消費地に供給するための食料品工業が製造品出荷額の第1位となっている。
 4. 阪神工業地帯の一角を担う地域として、大規模な石油化学コンビナートが沿岸部に形成されている。
- 問5 中国地方の各県における工業の特徴を説明した次の文のうち、統計的な傾向と一致する正しい説明はどれですか。なお、統計上、山口県は化学工業の産出額が約1兆9791億円と非常に大きく、島根県は化学工業（約333億円）や輸送用機械工業（約839億円）に比べて鉄鋼業（約1675億円）の産出額が多くなっています。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。
 2. 島根県は輸送用機械工業の産出額が中国地方で最も多く、広島県は化学工業が産業の中心となっている。
 3. 山口県は鉄鋼業の産出額が県内で最も多く、島根県は石油化学コンビナートが集中する化学工業の拠点となっている。
 4. 広島県、山口県、島根県の3県は、いずれも輸送用機械工業が県内産出額の第1位を占めている。
- 問6 中国・四国地方を地形や気候の特色に基づいて区分した際、日本海側に位置する地域と、本州と四国の間に広がる内海に面した地域をそれぞれ何と呼びますか。適切な組み合わせを選びなさい。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 山陰と北陸
 2. 瀬戸内と中央高地
 3. 山陰と瀬戸内
 4. 山陽と東海
- 問7 日本の中国地方を構成する県のうち、県名と県庁所在地の名称が異なっている県はどれですか。最も適切なものを答えなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 岡山県
 2. 鳥取県
 3. 島根県
 4. 山口県
- 問8 中国地方と四国地方の間に位置する地域では、約4170kmにおよぶ島や半島、岬が入り組んだリアス海岸が広がっています。この複雑な地形を活かして、人口が集中する都市の臨海部で特に盛んに行われており、カーフェリーなどの製造を通じて関連産業が集積している工業はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 瀬戸内工業地域の造船業
 2. 京浜工業地帯の石油化学工業
 3. 阪神工業地帯の金属工業
 4. 中京工業地帯の自動車工業
- 問9 山陰と南四国の気候の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 山陰では、夏に太平洋から吹く南東の季節風の影響を受け、年間で最も降水量が多くなる。
 2. 南四国では、冬に大陸から吹く北西の季節風の影響を受け、年間で最も降水量が多くなる。
 3. 南四国では、夏に大陸から吹く南東の季節風の影響を受け、冬に比べて降水量が非常に少なくなる。
 4. 山陰では、冬に大陸から吹く北西の季節風の影響を受け、降水量（降雪量）が多くなる。
- 問10 中国・四国地方の各県の産業について述べた文のうち、香川県の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 製造品出荷額が日本一であり、重化学工業を中心とした世界最大の工業地帯となっている。
 2. 年間を通して降水量が多いため、ため池は不要であり、米の単作のみに特化した農業が行われている。
 3. 一定の工業集積が見られるとともに、ため池などを活用して野菜や果実の栽培が行われている。
 4. 工業集積がまったく見られず、県全体の産業の大部分を熱帯雨林を活用した林業が占めている。
- 問11 瀬戸内工業地域において、製造品出荷額等に占める「化学工業」の割合が全国平均（14.4%）を大きく上回る約20.5%（2021年）となっている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 内陸部の豊富な水資源と高速道路網を活かして、IC（集成回路）などの電子部品を生産する工場が数多く進出したため。
 2. 瀬戸内の温暖な気候で栽培される柑橘類などの農産物を加工する、大規模な食品加工団地が各地に整備されたため。
 3. 大型船の入港に適した穏やかな海に面する臨海部に、原料の輸入と製品の出荷に便利な石油コンビナートが形成されたため。
 4. 阪神工業地帯に近接している利点を活かし、自動車や造船などの組み立てを行う機械工業が産業の大部分を占めるようになったため。
- 問12 香川県をはじめとする瀬戸内地方の地域では、山地に囲まれた地形の影響で年間の降水量が少なく、古くから干ばつの被害に悩まされてきました。このような気候条件のなかで、安定して稲作を行うために作られた「ため池」の役割について、最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 急峻な河川の流れを利用して、農業用の電力を発電する
 2. 雨の少ない時期に備えて、農業に必要な水を貯蔵する
 3. 都市部で不足する生活用水を供給するための貯水池として活用する
 4. 大規模な洪水が発生した際に、河川から溢れた水を受け止める